TOTO®

保 証 書

品　名	化　粧　鏡
品　番	UGM300
保証期間	お買い上げ日から1カ年
お客様	おなまえ　　様 おところ〒
販売店名	㊞ 〒　　TEL　　―　　―
お買い上げ日	年　　月　　日

この保証書は、保証書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
お買い上げ日から左記期間中故障が発生した場合は、この保証書をご提示のうえ、販売店又はTOTOメンテナンス㈱
0120-1010-05に修理をご依頼ください。

★お客様へ
本書をお受け取りになるときに、販売店名、扱者印、お買い上げ日が記入されていることを確認してください。
本書は再発行いたしませんので大切に保存してください。

〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書にしたがった正常な使用状態で故障した場合には、表記の期間無料修理いたします。
2. 無料修理により取り外された部品・製品は、TOTO㈱の所有となります。
3. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お取付店またはTOTOメンテナンス㈱にご依頼のうえ、出張修理に際してこの保証書をご提示ください。
4. ご贈答品などでこの保証書に記入してあるお取付店に修理がご依頼できない場合には、TOTOメンテナンス㈱にご相談ください。
5. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   - 使用上の不注意、過失による不具合及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
   - お取付後の移設などに起因する故障及び損傷。
   - 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変、公害ガス害（硫化水素ガス）、塩害による故障及び損傷。
   - 一般家庭用以外（例えば業務用の長時間使用、車輌、船舶への搭載）に使用された場合の故障および損傷。
   - 砂やゴミかみによる不具合。
   - この保証書の提示がない場合。
   - この保証書にお客様名・お取付店名・お取付日の記入のない場合、あるいは字句を書替えられた場合。
6. この保証書は日本国内においてのみ有効です。
7. この保証書は再発行しませんので紛失しないよう大切に保管してください。

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証書期間経過後の修理等についてご不明の場合は、もよりの当社事業所にお問合わせください。

TOTO株式会社
〒802-8601　福岡県北九州市小倉北区中島2丁目1番1号

商品のお問合せはTOTO（株）お客様相談室へ
TEL 0120-03-1010
FAX 0120-09-1010
受付時間：平日　9:00～18:00
土・日・祝日　10:00～18:00
（夏期休暇・年末年始を除く）
インターネットホームページ　http://www.toto.co.jp/

修理についてのご用命はTOTOメンテナンス（株）修理受付センターへ
TEL 0120-1010-05
FAX 0120-1010-02
受　付：年中無休
受付時間：関東・甲信越地区8：00～20：00
上記以外の地区9：00～20：00
訪問修理：年中無休（一部地域を除く）
営業時間：9：00～18：00

補修部品のご購入はTOTOメンテナンス（株）TOTOパーツセンターへ
TEL 0120-8282-55
FAX 0120-8272-99
受付時間：平日　9:00～18:00
土・日・祝日　10:00～18:00
（夏期休暇・年末年始を除く）

GH05426V

2007.04

TOTO

施工説明書
取扱説明書
保証書付

化粧鏡

UGM300

工事店さまへのお願い
貴店名ならびに据付け引渡日を保証書にご記入の上、お客様に必ずお渡しください。

お客様へ

■このたびは、化粧鏡をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。
この説明書は大切に保存しておいてください。
■添付の保証書には、お取付店名、お取付日、扱者印が記入してあることを確認してください。
■器具を正しくお使いただくためにご使用前にこの説明書をよくお読みください。

お取付け工事店様へ

■製品の機能が十分に発揮されるように、この本書の内容にそって正しく取付けてください。
■取付け後は、お客様にご使用方法を説明し、この説明書をお渡しください。

安全に関するご注意 安全上の警告・注意事項を必ず守ってください。

⚠ **警告** 誤った取り扱いをすると、「死亡又は重傷を負う可能性が想定される」内容です。

⚠ **注意** 誤った取り扱いをすると、「人が傷害を負う可能性及び物質的損害の発生が想定される」内容です。

🛇 このような絵表示は、禁止の行為であることを告げるものです。

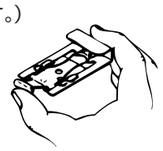
❗ このような絵表示は、行為を抑制したり指示する内容を告げるものです。

⚠ 警告

- 必ず守る **壁固定ねじ取付位置には必ず壁裏に補強材を入れる。**（補強がないと鏡の落下の原因となります。）
- 必ず守る **取付金具は上下逆に取付けない。**（使用中に鏡が落下したり、外れたりしてけがをするおそれがあります。）
- 必ず守る **工事完了後、鏡がきちんとはまっていることを必ず確認する。**（鏡の落下の原因となります。）
- 必ず守る **取付金具及び鏡本体は指定位置に確実に取付ける。**（使用中に鏡が落下したり、外れたりしてけがをするおそれがあります。）
- 必ず守る **取付金具の解体は絶対しない。**（使用中に鏡が落下したり、外れたりしてけがをするおそれがあります。）

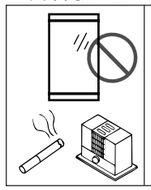
⚠ 注意

必ず守る 取付金具を単品で作動させる場合には下図のように取付金具を持ち作動させてください。（指をはさみけがをするおそれがあります。）



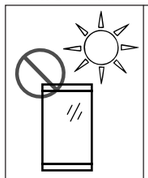
使用上のご注意

1. 異常高温はさけてください。



・ストーブなどを近づけないように注意してください。
・ヘアドライヤーの熱風を直接あてないでください。
（変形、変色の原因となります。）

2. 日光が直接あたるのを防いでください。



・直射日光にさらされる場合はカーテンなどでさえぎってください。
（変形、変色の原因となります。）

3. 鏡の破損防止のため次の点に注意してください。

・鏡に硬い物をぶつけないでください。
・鏡に冷水や熱湯がかかると破損するおそれがありますのでかけないでください。

4. シンナー等は使用しないでください。

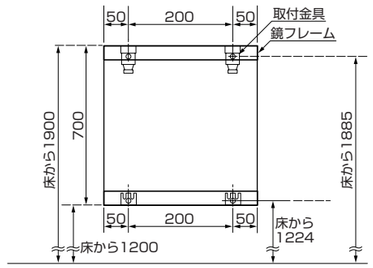
・シンナー、ベンジンなどの溶剤やクレンザー及びトイレ・バス・タイル用洗剤は、表面を浸したり傷つけますので使用しないでください。

お手入れの方法

・通常は、柔らかい布などで水ぶきを行ってください。汚れがひどいときは、中性洗剤をしみこませた布又はスポンジで、ふきとってから水ぶきし、最後にからぶきしてください。

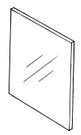
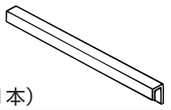
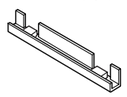
・シンナー、ベンジン、殺虫剤などの使用は、表面を変色・変質させますので使用しないでください。
・たわし・ナイロンたわし及びクレンザー・トイレ・バス・タイル用洗剤・塩素系洗剤は、表面を浸したり傷つけますので使用しないでください。

取付け前のご注意



・壁固定するねじ取付位置に補強合板があるか確認してください。（タイル、コンクリート壁の場合は現物に合わせて下穴をあけ、市販のプラグを打ち込んでおいてください。）
・上図に示す工事寸法位置にあらかじめ厚さ12㎜以上の補強合板を入れておいてください。

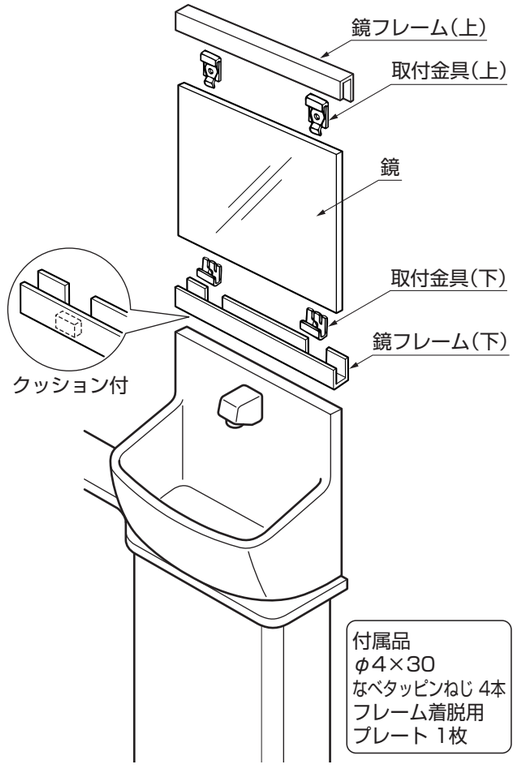
部品の確認

①鏡  （1枚）	②取付金具（上） （2個）	③取付金具（下） （2個）
④鏡フレーム（上）  （1本）	⑥φ4×30なべタッピンねじ （4本）	⑦フレーム着脱用プレート30×30×1 （1枚）
⑤鏡フレーム（下）  ※鏡受けゴム付き（1本）		⑧取扱・施工説明書(本書)

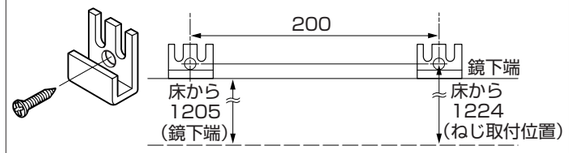
GH05426V

取付方法

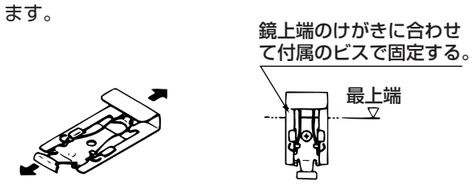
1. 取付け金具及び鏡の取付



1）鏡の取付位置を確認し、取付金具（下）を付属のビス（なべタッピンねじφ4×30）にて固定します。（2ヶ所）

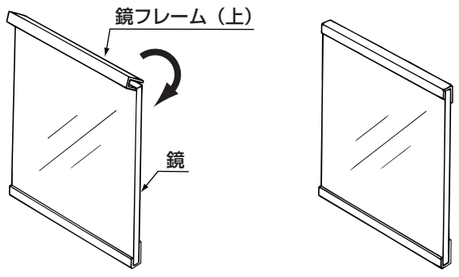


2）鏡を下側の取付金具（下）に仮置きし、鏡の上端面に合わせ、壁面にけがき線を入れ、鏡をはずします。
3）取付金具（上）を引き伸ばし、線上端のけがき線に合わせて付属のビス（なべタッピンねじφ4×30）にて固定します。

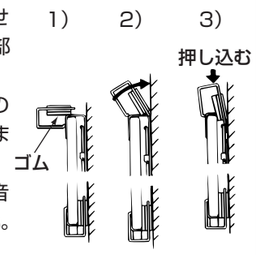


4）鏡を再び下側の取付金具にのせ、鏡を壁に押しつけながら、上側の取付金具を充分下方に押しつけてください。
※取付完了後に、上側取付金具が最後まで下がっているか確認してください。

2. 鏡フレーム（上）の取付け

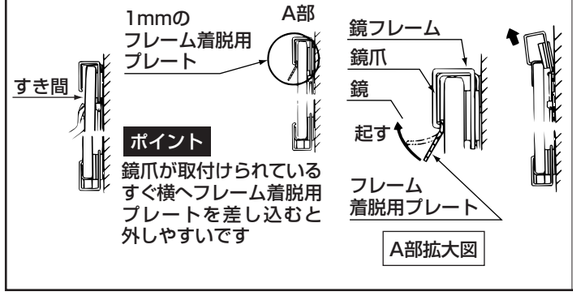


1）鏡と鏡フレームの左右を合わせ鏡の端部へ鏡フレームのゴム部を水平にあてます。
2）鏡フレームを壁面と鏡裏面との間へ回しこむようにして入れます。
3）鏡フレームを下方へカチッと音がするまで押し込んでください。



※上フレームと同じ要領にて下フレームの取付けを行ってください。

鏡フレームの取外し方



1）鏡爪が取付けられている付近の鏡表面を手のひらで押し、左図のように鏡とフレームの間にすき間をつくります。
2）鏡とフレームの間に1mmのフレーム着脱用プレート(同梱)を差し込みます。
3）差し込んだフレーム着脱用プレートを左図のように起こすとカチッと音がして、フレームから爪が外れます。
4）その他の爪部分も同じ要領で外してください。